



議会だより

リニューアルオープン
にぎわう“ゆ～む”



3月定例議会 関川村 核兵器廃絶・平和の村宣言可決 2～3

一般質問 4名登壇 ～村政を問う～ 4～7

議会審議 Q & A 8～9

村民の声 「いま自分に出来ること」 10

3月定例議会

平和の村宣言可決

平成23年第2回定例会が3月9日から18日まで10日間の日程で行われました。

村長の施政方針説明の後、4名の議員から一般質問がありその後、議案の提案、質疑、委員会付託をへて全議案原案可決されました。陳情1件が採択され意見書が発議、可決され関係機関に送られました。

急患診療所事務村上市へ委託

急患診療所の事務を村上市に委託する規約を議決しました。今まで休日診療所としていたものを、村上市

の診療日まで待てないという場合にご利用ください。村民の利用状況に応じて経費を負担します。

岩船郡医師会の皆さんのいっそうの協力を得て平日夜間も診療するものです。

6月1日から開始し受付時間は午後6時30分から9時15分までです。場所は今までと同じ医師会館です。救急医療に従事する勤務医の皆さんの負担を軽減し圏域の医療の充実に役立つために開設します。救急車を依頼するほどでもないが次



関川村

核兵器廃絶

平和の村宣言

歴史と文化、豊かな自然に恵まれ、平和で安心して暮らせる私たちの村を、後世に引き継いで行くのが村民の役割です。

しかし、世界には地球規模の破壊を招く核兵器が多量に存在し、「抑止力」の名のもと核兵器を保有し続ける国や、新たに核兵器を保有しようとする国があること、また武力紛争などの戦禍により尊い命が日々失われていることに、私たちは大きな憂いを持っています。

日本は世界唯一の核兵器による被爆国であることを心に刻み、私たちは日本国民として、核兵器と戦争のない世界を実現するために力を尽くすことを惜しんではなりません。

私たちの村は、非核三原則を守り、すべての核兵器が廃絶されることと、世界の恒久平和を求め、ここに「核兵器廃絶・平和の村」を宣言します。

関川村 核兵器廃絶

一般 会計

40億8700万円に！

平成23年度予算の一般会計は、関川小学校建設事業が終了したことにより前年度よりも5億1900万円少なくなりました。当初予算規模が45億を下回るの

は平成19年度以来4年ぶりです。特別会計は、介護保険事業会計が、介護給付費の増加に伴い前年度より1億770万円多い8億8910万円となりました。公共

歳入の状況

下水道会計は、公債費の減により1610万円少ない4億8890万円となりました。

歳出の状況

人件費は、退職者6人に対し4人の補充にとどめる予定だが議員年金の廃止に伴う議員共済負担金の1658万9千円の増額により前年度とほぼ同額になりました。扶助費は、子ども手

キラリ補助金は今年度も

昨年度はじめたキラリと光る地域活性化補助金700万円は、今年度も実施されます。村民の皆様の振るってのご応募お願いします。

新規にリフォーム助成

今年度の目玉として一般住宅の改修費を助成します。

積立金および村債の状況

財政調整基金等の積立金は2278万円の減で1億375万円になり、村民一人当たりするとおよそ21万1059円になります。これに対し借金である村債の残高は1億4427万円減の55億2595万円です。村民一人当たりすると83万845円になります。

歳入の状況

村税は、農業所得の落ち込みによる個人村民税の減額を見込み前年度比6.6%減の6億5826万円、地方交付税は前年度比0.6%増の21億2300万円、村債は防災無線整備事業債を8080万円、臨時財政対策債は

1億1080万円減の2億3020万円計上しました。村税などの自主財源は23.9%で76.1%は依存財源です。



更新中の防災無線

限度額は10万円です。新築、増築は対象になりません。50件分500万円を計上しました。

質 問



津野 庄衛 議員

むらづくり基本条例の検証内容は各部会で内容を検討した

議員 昨年の施政方針のなかで、むらづくり総括本部の活動を活性化させ、新たに三つの基本方針とむらづくり基本条例の検証を行い具体的な政策に練り上げるとしているが、本年度の施政方針は前年度の検証の結果によるものと思

村長 むらづくり総括推進本部に資源活用部会、地域力向上部会、定住推進部会を設置して、むらづくり基本条例を検証するために自治基本問題検討グループの

活動を再開させました。資源活用部会では、ゆるむのリニューアルの内容検討、地産地消、資源発掘の各作業グループ、地域力向上部会ではコミュニティ対策、

工業製品はともかく、自然相手の農業は条件が違う。オーストラリアの一戸平均耕作面積は3400ヘクタールで日本の2000倍と言われている。日本でいくら規模拡大しコストダウンしても勝負にならない。農業・農村が衰退すれば自

TPPに対する村の対応は村長の立場で反対している

キラリと光る地域活性化補助事業の制度設計などの各作業グループ。定住推進部会では子育て支援、交流促進、定住促進等で検討し、実施したもの、継続して検

議員 「平成の開国」と称して、反対・賛成の声が上がっているTPP(環太平洋

然破壊にもなりかねない。村としての対応を伺う。

村長 TPP参加は、村の基幹産業である農業の根

を囲む国で決める関税をゼロにする約束で貿易を活発にして国の経済を発展させるとのことだ。

を揺るがすものとして村長の立場で反対です。村単独では現在アピールしていませんが、村長が加盟している全国町村長大会でTPP

は日本農業の壊滅的な打撃や漁村の崩壊をまねくとして参加しないことを大会決議しました。また、県内の大規模農家では、TPP反対に疑問をもっている方もいるようですが、いずれにせよ私は反対の立場です。

討しているものもあります。むらづくり基本条例の見直しでは関川村総合推進審議会に諮問して、準備が整えば6月議会に提案します。

また、役場からの文書を分かりやすくするため「お役所言葉改善の手引き」の冊子を職員に配布いたしました。

農業と観光分野での相互協力は道の駅・関川ふる里会等で農産物の販売拡大を図る

議員 本年度の施政方針で、

めています。

農業と観光の分野の相互協力のなかで仕組みづくりを進めるとしているが、一歩前進して具体的施策(行動計画)を示して欲しい。村長の所信を伺う。

農家が新たに取り組む加工や販売を支援する第6次産業化法が施行されたことも農業と観光の相互協力になるものと期待しています。

村長 観光の分野は情報発信力が強く、道の駅関川あ

るいは温泉郷などがあります。村外ではいで湯の関川ふる里会、首都圏在住関川村人会、さいたま市との交流など、これらを活用して村の農産物の販売拡大、キモモノ(デプロジエクト)等の支援、ちぐら館の整備、あいさい市の通年営業を進



あいさい市

般



渡辺秀雄 議員

人口減少の抑止対策は

中長期的な視点で安心して暮らせる村づくり

議員 村の人口は平成17年に7019人いたが、平成22年には6445

人で5年間で491人減少している。昨年10月の国勢調査の速報値によると県内市町村の人口減少率では3番目に高く、このよ

うな状況が続くと村の存続に係わる大きな問題である。村の今後の取り組みを伺う。

議員 若者世代を増やして安心して子供を産み育てられる環境づくりは大事なことと考える。ある町では多子世帯の負担軽減を図るために、第3子の出生時に30万円、第4子に40万円、第5子に50万円のお祝い金を支給しているが、村でもこのような秘策を取り入れて、例えば逆に第1子から20万円支給するというような形で、他の地域でまねの出来ないような子育て支援を村外へ発信すれば注目されると思うが。

で村全体が安心して暮らせる環境づくりを行うことが人口減少の抑止になると考えています。



若者向け共同賃貸住宅 “メゾン下関”

議員 診療所の医師が1月末で退職されたが、患者数は600人で1日あたりの受診者が50人おり、地域の医療機関として大きな役割を果たし、また患者さんには信頼され安心感のある大事な診療所である。常勤医師をできるだけ早く採用してもらいたい。現状を伺う。

議員 診療所の医師が1月末で退職されたが、患者数は600人で1日あたりの受診者が50人おり、地域の医療機関として大きな役割を果たし、また患者さんには信頼され安心感のある大事な診療所である。常勤医師をできるだけ早く採用してもらいたい。現状を伺う。

議員 診療所の医師が1月末で退職されたが、患者数は600人で1日あたりの受診者が50人おり、地域の医療機関として大きな役割を果たし、また患者さんには信頼され安心感のある大事な診療所である。常勤医師をできるだけ早く採用してもらいたい。現状を伺う。



関川診療所

質 問



渡辺健作 議員

国民健康保険・介護保険料の上げる時期、税率は6月の定例議会に提案

議員 平成23年度施政方針から福祉・健康・医療について伺う。

子育て支援の具体的対策。

地域包括支援センターの活動状況。高齢者世帯が雪下ろしを依頼するルートと助成金の有無。

国民健康保険と介護保険の保険料を上げる時期と税率。

村上総合病院の新築に対する財政支援の額。

村長 子育て支援には、財政支援と子供の成長を支援する二つがあり、財政支援については、1番目に平成21年度から保険料

の軽減。2番目に子供の医療費助成について、平成22年度から通院、入院とも中学校まで拡大し、通院1回530円、5回目以降は無料、入院は1日1200円という限度額です。3番目として、平成22年8月から子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額補助を全中学校生徒対象に実施しています。4番目に、ヒブワクチンや小児用肺炎球菌予防ワクチン接種費用の助成を平成23年度から実施予定です。その他、大学進学奨学資金の貸付、妊婦健診費用年14回の助成、子供の成長を助成するものとして、中学校の教員助手や保育員の特別保育士の配置や、子育て支援センター、学童保育児童教室の設置運営などを実施しています。

地域包括支援センターは高齢者の健康から医療、介護、福祉に至るサービスを提供する拠点であり、仕事は、総合相談の窓口。権利擁護の相談。包括的、継続的ケアマネジメント。介護予防ケアマネジメントの四つです。活動状況を数字で示すと、総合相談では583件。虐待で3人のケースに対応。介護予防ケアで70人の特定高齢者支援などを実施しました。

雪下ろしについては、高齢者であっても基本的には個人負担とし、業者へも直接依頼となつていますが、社会福祉協議会の事業として家族で雪下ろしができず、年間収入が基準より低い世帯で、子供が15歳以下の母子世帯。世帯主が障がい者手帳の1〜4級に該当する世帯。目の不自由な世帯。

精神的障がい者の世帯。ひとり暮らし老人と老人夫婦だけの世帯については、雪下ろし経費を全額助成していません。

保険給付財源に充てるため、国民健康保険給付準備基金を約1億5400万円積み立てていますが、平成22年度は9300万円取り崩し、平成23年度予算では5300万円の取り崩しとなり、残金が800万円となるため、6月議会で税率の変更を提案したいと思

います。介護保険についても同じような状況で年々厳しくなっており、平成23年度予算は県の財政安定化基金から借り入れて組みました。3年に一度の保険料の見直しでは、来期は現行4200円から56000円程度にせざるをえません。村上総合病院の新築に対する財政支援は、現段階では具体的な数字は出ていないが、いずれ金額の要望が

来ると考えています。**議員** 国民健康保険や介護保険の税率の件について、今までの内情も詳しく説明し、不足金額を明確にして6月定例会に提案してほしい。

村長 税の確定申告を集計した時点で可能な限り詳しい数字を出して、6月議会に提案をしたいと思



下関保育園 卒園式

般



須貝謙一 議員

湯沢地内に「関鉄之介捕縛の地」の碑の建立を 支援方法を検討中

議員 関鉄之介捕縛の地の碑を湯沢地内に建立し、観光振興の目玉にしてはどうか。次の3点について伺う。

1 関鉄之介捕縛の地の碑を建立する計画はあるか。

2 「桜田門外の変」の映画を村で上映する計画はあるか。村内にある史跡をマップに記して村民全員に配布したらどうか。

村長 碑の建立、映画の上映の2点については現在の段階では村がやるということのように考えておりません。村では昨年12月にのぼりを90本作りまして村内の

該当する部分、あるいは温泉旅館にこののぼりを立てていただいているところで

す。また、この議場で2月15日に関川村子供議会がありまして、6年1組の皆さん方からこの関鉄之介を観光の売りにしてはどうかという提案があり心強く思っております。

この気運の中で、今議員の碑の建設計画をすると聞き、観光の拠点になることを期待しております。何かの形で村が支援できる方法があればいい、検討させてもらっているところです。

の映画は封切り後日数が経過すると金額的にも、またフィルムが配信されるルートも変って、また上映を企画する主催者も多方面にわたっておりません。そういう機運があったら、行政としてどのようなバックアップ

ができるか検討させてほしい。

名勝地図については、ぜひ載せたいと考えています。村の文化財も含めてマップづくりは必要であろうと思っておりますので、簡単なものになると思うが計画させてもらいます。このようにして関鉄之介のことが村の観光に寄与すればよいと念願しております。



ふるさと農園の募集、管理は？
条件整備に時間が必要

議員 温泉橋上、下流地にある「ふるさと農園」ですが、平成21年度、22年度に整備を終え、23年度には使用開始されると思うが、どのような形で募集、管理をしていくのか伺う。

使用できる人の枠組は村内の人なのか、村外の人でなければダメなのか。もし遠方の人だと、管理者は集落の人にさせるのか、それとも管理公社に一任されるのか。

村長 国土交通省のかわまちづくり事業の一つとして整備し、昨年国土交通省から村に管理が移された農園です。湯沢愛広苑の裏19a、高瀬温泉地先92aの面積で

す。河川敷の農地は農地法の関係で、市民農園にするには関係機関や団体等との協議や条件整備をしなければならず、それに伴って時間も必要です。とりあえず大勢の皆様楽しんでいただくように花などを栽培し、ふるさと農園として整備ができた段階で事業の目的に沿った活用をしたいと思いません。



ふるさと農園

3月定例議会 議案審議における Q & A

督促手数料及び 延滞金徴収条例の制定について

村の収入である分担金、使用料、加入金、手数料などを納期限までに納めなかった場合

納期限後20日以内に期限を指定して督促状を発生し、1通につき100円の督促手数料を徴収します。

督促状を発生した場合において、納期限の翌日から1ヶ月までは7.3%、1ヶ月を超えると14.6%の延滞金を加算して徴収します。

現在特例で4.3%となっています。

Q、延滞金の率は、どのように決めたのか。

A、地方税法と同じ率です。



納期限までに納めましょう！

高齢者生活福祉センター設置及び 管理に関する条例の一部改正について

高齢者生活福祉センター

とは「ゆうあい」(湯沢)の居住部分の事です。6部屋あり、身の周りの事が自分ででき、自炊できる単身の高齢者に限り一時的に入居できます。光熱水費の共同経費として1人月額を8000円とします。

Q、共同経費の1人月額2000円の値上げの理由は。

由は。

A、共同経費の1人月額を平成4年度から4500円、11年度から6000円を負担いただいているが、下水道の接続などによって見込み額を再計算したところ、8550円でありました。その他に風呂も利用していることから、値上げするものです。

表彰

長年の功績を称え全国町村議会議長会から表彰されました。

おめでとうございます。



高橋八男議員

大沼久夫議員



人事同意

次の方々の選任があり、同意しました。

関川村副村長

② 佐藤忠良さん(朴坂)

関川村教育委員会委員

② 野沢専治さん(下関)

② 田村良子さん(下土沢)

② 本間正良さん(安角)

平成23年度

予算審査特別委員会 Q&A

一般会計予算

歳出

畜産振興費

工事負担費について

Q、浄化槽480万円の内
容は。

A、松平の畜産団地にある
浄化槽から荒川に流れ出て
くる水が濁っていることか
ら、現在の浄化槽の能力が
不足していると判断しまし
た。そのため能力の改修と
して沈殿槽に固形の納豆菌
を入れる設備を追加するも
のです。

商工観光費

設備費について

昨年わかぶな高原スキ
ー場の一部が土砂崩れしまし
た。場所は人気のゲレンデ
にあり管理道路にも面して
います。

Q、スキー場ボーリング調
査設計業務委託料200万
円の目的は。

A、これ以上の土砂崩れを
防ぐために地盤調査を委託
するものです。

土木管理費

土木総務費について

平成23年度の新規事業で、
住宅改修補助金として50
0万円が計上されました。

Q、住宅改修補助金の上限
10万円は低いのでは。

A、新・増築を対象とした
ものではなく、家の外壁を
塗り替える、部屋の壁紙を

張り替えるなどのリフォー
ムを対象として村内の小規
模店を支えるための事業で
す。

対象は村内業者が請け負
う20万円以上の事業で、申
請は1回のみとします。耐
震工事はこれとは別の事業
で補助申請ができます。

歳入

諸収入

JR定期券購入について

Q、今も下関駅で買うよう
に呼び掛けているか。

A、現在も関川中学校の卒
業式に保護者をお願いして
いる。また、各高等学校校長
宛に文書で依頼しています。



今シーズン来場者5万人を超えた“わかぶな高原スキー場”



定期券は
越後下関駅で!

村民の声

「いま自分に出来ること」

ただし
正さん
(湯沢)

うち
内

かわ
河

今自分に何が出来るんだろ。昨年八月に勤めをやめ自由な時間が出来た。

今自分で仕事で家、集落、村等にあまり協力出来なかつた事から勤めをやめた今、何か協力出来ないかと思つていたところに民生児童委員の話が飛び込んできた。学力も知識もない、ましてや、そもそも民生児童委員とは何ぞや。この程度の自分に果して出来るのか不安でしたがお

受けする事にしました。資料マニュアル等を読んでも私の頭にはなかなか入らないので、出来るだけ行動しようと思ひ研修会及びセミナー等に参加し知識を深める。高齢者宅を訪問し

現況を確認し情報を得る。活動の中で疑問に思つた事は「聞くは一時の恥」と思ひ確認する等々の活動を今後に生かしていきたいと思ひます。周りからは「一銭にもならないのに」となかなか理解してもらえない面もありますが、少しでもお困りの方々の一助になればと思ひ活動してまいります。絵に書いた餅にならないよう頑張ります。

「村民の声」の原稿を依頼されたときに大震災が発生したときに大震災が発生しテレビ放映画面には生々しい津波の信じがたい状況が映し出されました。すべてを押し流して行く自然の力、猛威に対しいかに人間は微力なのかを思い知らされました。災害現場避難所など涙なくしては見られません。何か自分に出来ないか、義援金、救援物資、祈

る事くらいしか出来ない自分にもどかしさを感じております。被災した方々が物資の配給に整然と並んでいる。少ない食料を分け合っている。自身が大変なのに他の人を気づかっている等々の画面を見て感銘を受けました。

関川村にも避難所が開設されたとの事。村民全体でそれぞれ出来る協力、援助を行ないたいものです。明日は我が身を肝に銘じ、災害が発生したらまず自身を守る「自助」、次にお互いに共に助け合う「共助」そして自治体、県、国、関係機関の援助を待つ等を心に置き、今回の大震災を教訓に今後の防災訓練を真剣に取り組んでいきます。

「力になりたい」誰もがそう思つたに違いない。震災直後、村は避難所を開設した。職員が24時間対応する中、食生活改善推進委員による炊き出し、住民からは支援物資が届いた。温泉旅館組合も格安で宿を提供。水害を経験した村ならではの思いが込められている。「普通の暮らしに戻りたい」は私が聞いた避難者の生の声だ。被災した方々の心に寄り添いながら被災地の一日も早い復旧・復興を心から祈りたい。

東日本大震災は人々に底知れぬ悲しみと苦しみをもたらした。そして原発事故による恐怖と不安と怒りが人類に多くの問題を突き付けている。

平田(ゆ)

被災者の皆さん頑張れ

編集後記

東日本大震災によつて被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

関川村議会